

## 国土交通省の新たな挑戦！

気候変動で激甚化する災害から国民の命を守る

防災地下神殿「首都圏外郭放水路」の8つのパワーアップ計画

「災害の自分事化」100,000人計画始動！

本格的な「防災ツーリズム」がスタートします。

日本が世界に誇る国の防災施設を官民合同で世界一の観光資源に育てる！

近年、気候変動により全国各地で過去に例がない集中豪雨や大型台風が頻発しています。首都圏でも、激甚な災害の危機が迫っていることを受け、国土交通省では、「災害の自分事化」を通じて災害から国民の命を守ることを目指します。新たに「観光の視点」で子供から大人まで楽しく防災の知識を身に付けられるよう、首都圏外郭放水路を情報発信基地として更にパワーアップさせます！

首都圏外郭放水路は、首都圏の地底50mを流れ、日本が世界に誇る最先端の土木技術を結集して建設された世界最大級の地下河川です。とりわけ巨大地下神殿と称される調圧水槽の壮大なスケールが人気を集めており、年間約62,000人が有料の見学会で訪れています。最近では、SNS「X」にポストした調圧水槽流入時の動画が1,400万回以上の再生数を記録するなど、**インバウンド観光客を含め観光資源**として注目を集めております。

国民に迫る災害の危機に対して、国土交通省関東地方整備局の**若手が中心となり、国民の命を守るために「災害の自分事化」について話し合い、「防災ツーリズム」のプロジェクトを官民合同で立ち上げました。**様々な議論とアイデア出しを行い、国民の防災意識を向上させる**8つのパワーアップ計画を考案**しました。新たに「防災コンシェルジュ」を育成し、「災害から命を守る自分事化カード」を開発しました。その他、インフラを観光資源としてさらに活用し、地元埼玉県や春日部市の観光を牽引するとともに、日本が誇る最先端の防災技術や土木技術を世界に発信していく壮大な計画です。8つのパワーアップ計画では、調圧水槽のライトアップや未公開だった第3立坑を新たに観光資源として開放した「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」を創設。お子様向けには大人気ゲーム「マイクラフト」で防災システムを学ぶコンテンツを創設、インバウンド対応の多言語化ツールの導入などを通じて、首都圏外郭放水路の観光施設としての魅力を広め、**年間来場者を10万人まで引き上げることを目指します！**来場された方々に、新たに開発した「災害から命を守る自分事化カード」を配布し「災害の自分事化」の取組を強力に進めていきます。



※調圧水槽 見学会



※防災コンシェルジュによる案内

# 世界一の防災ツーリズムに向けた 8つのパワーアップ計画！

国土交通省の新たな挑戦！『災害の自分事化100,000人へ』

## 防災地下神殿「首都圏外郭放水路」の8つのパワーアップ計画

国土交通省では、首都圏でも激甚災害の危機が迫っていることを受け、国民の命を守ることを目指し、災害から自らの命を守る「災害の自分事化」を推進しています。「災害の自分事化」とは、国民一人ひとりが災害についての知識や災害に対する理解を深め、対策を考え行動することを指します。首都圏外郭放水路を舞台に、以下の8つのパワーアップ計画をスタートさせ、令和7年中に順次実施いたします。

### パワーアップ1 新たな「防災コンシェルジュ」の設置と、「災害から命を守る自分事化カード」を開発 (4月～始動)

国土交通省江戸川河川事務所が、「災害の自分事化」の伝道師として、防災コンシェルジュを認定。新たに開発した、自然災害への備えを簡潔にまとめた「災害から命を守る自分事化カード」を全ての見学者に配布し、「防災コンシェルジュ」が大切な命の守り方を楽しく丁寧に解説。「災害の自分事化」へ向け年間10万人の来場者を目指します。



### パワーアップ2 光と音の異次元体験 防災地下神殿をかつてない規模でライトアップ

防災インフラ施設である首都圏外郭放水路に多くの国民や全世界の方々にご来場いただくため、各種インフラの中でも、大胆な発想で防災地下神殿をライトアップ！

光と音で立体的な空間を構築し、他では味わえない特別な体験を提供します。



※イメージ

### パワーアップ3 第3立坑新規公開(年間限定100名) (4月16日～始動) 未知なる「地下河川を歩くアドベンチャー体験コース」

徳川家康によって始められた利根川の東遷。中川・綾瀬川流域では、以来約400年にわたって度重なる氾濫被害を受けていました。こうした被害への特効薬として建設されたのが首都圏外郭放水路です。



次ページに続く

# 世界一の防災ツーリズムに向けた 8つのパワーアップ計画！

前ページから続く

新たに第3立坑(地下トンネル)を追加し、首都圏外郭放水路のすべてをご案内する「アドベンチャー体験コース」が登場。技術者の思いや工夫、防災の大切さを体験できるスペシャルコースです。参加者には「龍Q防災博士」の認定証を差し上げます。



## パワーアップ4 首都圏外郭放水路が「マイクラフト」の世界で再現！ (6月～始動) 新たにマイクラフト防災学習コースが登場！

世界のZ世代の10人に1人が遊んでいる大人気ゲーム「マイクラフト」の世界で、首都圏外郭放水路を再現しました。こども達の想像力を駆り立て自由に探検できます！難しいと思われがちな防災について、ゲームを通じて楽しく遊んで学べる教材としてWebで4月に公開。マイクラフト防災学習がセットになった新たなコースも6月からスタートします！

★ 3月10日共同記者会見で先行お披露目いたします！



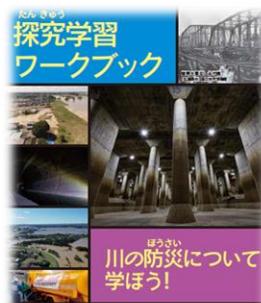
※イメージ

## パワーアップ5 文部科学省の学習指導要領に則った (4月～始動) 小学生向け探究学習プログラムの開発

これまでの社会科見学の枠組みを超え、小学生に自然災害の脅威や「災害の自分事化」を広げるために、文部科学省の学習指導要領に則って開発した探究学習プログラムの提供を4月から新たに開始します。



※災害学習の事前授業実施  
(学校数限定)



小学校  
年 組  
名前: \_\_\_\_\_

## パワーアップ6 首都圏外郭放水路の説明が21言語対応へ

昨年、過去最高を記録したインバウンド需要に対し、埼玉県および春日部市の新たな観光資源として観光庁のインバウンド施策と連携し、世界に誇る日本の防災技術と土木技術を発信するため、これまで日本語のみで提供していたガイドから多言語翻訳システム「VoiceOn」によって21言語対応に進化しました。



※イメージ

対応言語: 21言語

日本語・英語・中国語(簡体字/繁体字)・韓国語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語・ミャンマー語・ポルトガル語(ブラジル)・スペイン語・フランス語・フィリピン語(タガログ語)・クメール語・ネパール語・モンゴル語・ロシア語・ウクライナ語・ドイツ語・イタリア語・ヒンディー語

# 世界一の防災ツーリズムに向けた 8つのパワーアップ計画！

## パワーアップ7 龍Q館を巡る謎解き探検イベント

(2月より開催中) 「首都圏外郭放水路と火伏の龍伝説」

首都圏外郭放水路の広報施設「龍Q館」を舞台に、春日部市(旧庄和町)に伝わる「火伏の龍」伝説にまつわる謎解き企画を展開。謎解きファンはもちろん、若年層から各世代の方々に楽しみながら、防災の知識を学んでいただけます。また見学会にご参加されない方も、楽しんでいただける企画です。

火伏の龍とは・・・  
(ひぶせのりゅう)  
春日部市(旧庄和町)に古くから伝わる伝説で、江戸時代に旅のお坊さんを泊めたお礼にももらった「龍」と書かれたお札が、家の代わりに燃えることで辺り一帯の火事からその家を救ったことから火伏の龍の話が広まった。

## パワーアップ8 埼玉県及び春日部市の新たな周遊型観光の拠点化

(4月～始動)

本プロジェクトによる首都圏外郭放水路への10万人の来場者を春日部市内や、埼玉県内の観光スポットへ周遊を促すことで、「地域が潤う観光」を進めます。地域のイベントや、お祭り、四季折々の旬な食べ物や自然を織り交ぜながら、春日部と周辺の見どころを巡る、地域と連携したイベントを展開します。



## 今後のスケジュール

- ◆令和7年3月10日(月) 共同記者会見
- ◆令和7年3月14日(金) 新コース 受付開始
- ◆令和7年3月26日(水) マスコミ向けモニターツアー
- ◆令和7年4月16日(水) 新コース 第1回実施

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ  
神奈川建設記者会  
千葉県政記者会  
埼玉県政記者クラブ  
都庁記者クラブ  
春日部記者クラブ

### 問い合わせ先

#### 【取材受付先】

東武トップツアーズ株式会社

経営戦略部 広報担当

電話 03-3622-6215(報道関係者専用)

国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

副 所 長 田所 (たどころ)

建設専門官 菅間 (すがま)

電話 04-7125-7311(代表) 04-7125-7317(流域治水課)

春日部市役所

環境経済部 観光振興課長 古郡 (ふるごおり)

電話 048-736-1111(代表) (内線3560)

建設部 河川課長 浅野 (あさの)

電話 048-736-1111(代表) (内線3660)

# 国土交通省の新たな挑戦！

## 「首都圏外郭放水路」の8つのパワーアップ計画 共同記者会見のご案内

春日部市長・江戸川河川事務所長・東武トップツアーズ担当者からパワーアップ計画について現地でご説明します。当日は、これまで見学会で非公開だったエリアもお披露目しますので、皆様にぜひ取材にきていただきたくお知らせいたします。

開催場所：龍Q館（首都圏外郭放水路管理支所）2階展示室  
埼玉県春日部市上金崎720  
日時：令和7年3月10日（月）10:00－（受付9:30～）

共同記者会見

10:00－10:35 龍Q館 2階展示室

調圧水槽見学

10:50－11:10 調圧水槽 ※徒歩で移動

第3立坑見学

11:30－12:40

※第3立坑までは、事務局手配のマイクロバスにて往復送迎いたします。（各自でご移動いただくことも可能です。）

取材希望の方は以下の登録書記載の必要事項をご連絡願います。

### 共同記者会見 登録書

★以下を記載の上、メールを送付いただくか、右下のQRからご登録ください

メール送信先：[ktr-gaikakusinse@mlit.go.jp](mailto:ktr-gaikakusinse@mlit.go.jp)

メール着信期限：3月7日（金）12:00まで

1. 報道機関名（会社及び部署名等）
2. 取材者氏名等
  - ・氏名（ふりがな）（複数で出席される場合は代表者）
  - ・連絡先 電話番号及びメールアドレス
  - ・参加人数（代表者含む）

### 3. 参加内容

参加を希望される項目及びテレビカメラの持込の有無をお知らせください。

第3立坑見学を希望される場合は、現地でヒップウェーダーを履いていただくため、靴のサイズを報告ください。

- ・共同記者会見 （10:00－10:35）
- ・調圧水槽見学 （10:50－11:10）
- ・第3立坑見学 （11:30－12:40（バスでの移動を含む））

靴のサイズ \_\_\_\_\_cm

・テレビカメラの持込の有無

Webの申込みは[こちら](#)から→



### 【取材当日の連絡・問い合わせ先】

関東地方整備局 江戸川河川事務所 田所

携帯電話番号 090-4531-8877